

伊集院保健所感染症情報

2024年第49週（令和6年12月2日～令和6年12月8日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
 TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp
 鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● **新たに管内注意報を発令：インフルエンザおよび水痘**

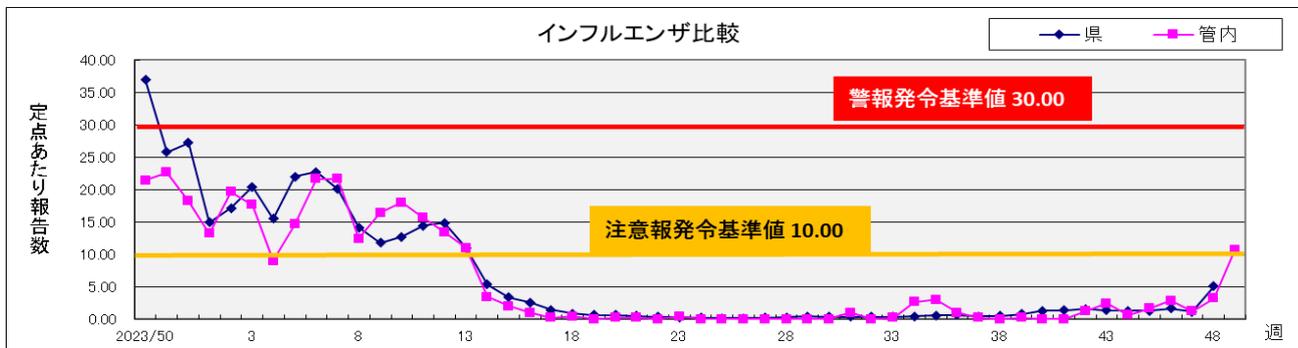
● **管内警報発令中：手足口病**

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第46週	第47週	第48週	第49週	先週からの増減	第48週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	2.80	1.20	3.20	10.60	↗	5.03	↗
COVID-19	-	-	-	1.20	0.60	0.80	1.00	↗	0.69	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	2.00	2.00	2.33	0.67	↘	0.55	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	2.00	1.33	3.00	2.67	↘	1.88	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	5.00	4.67	3.00	4.33	↗	3.69	↗
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	1.00	↗	0.16	↗
手足口病	5	2	-	9.67	7.67	7.33	3.33	↘	7.04	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.08	↘
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.33	↗	0.27	↗
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.67	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↘
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.67	0.00	↘	0.63	↗
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			49週届出 つつが虫病1（1）							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

注意すべき感染症

● **インフルエンザ（管内注意報発令！！）**

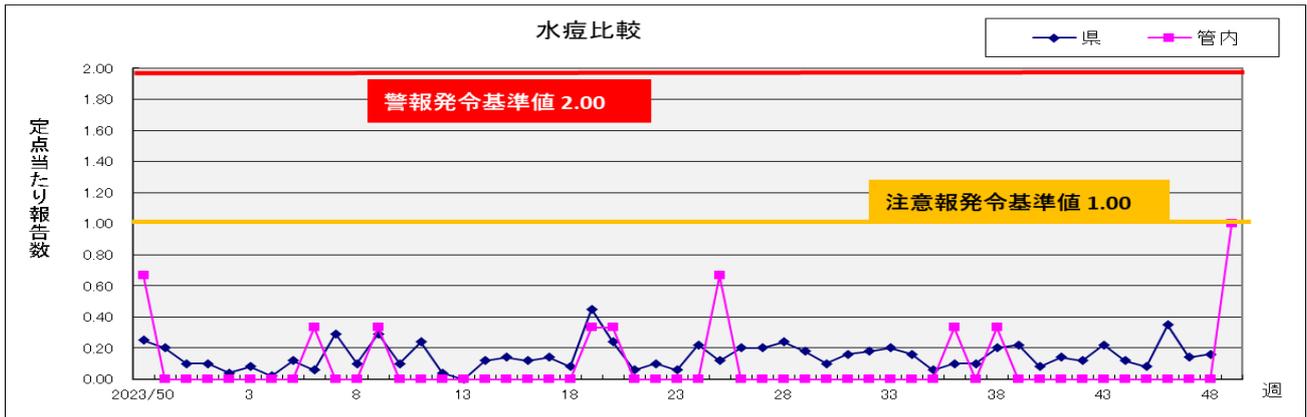


今週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、前週の16人（定点当たり3.20）から37人増加し、53人（定点当たり10.60）となりました。

年齢別の報告では、10～14歳（16人）、9歳（10人）、4歳・7歳・40～49歳・50～59歳（各4人）、6歳（3人）、1歳（2人）、そして2歳・3歳・5歳・8歳・60～69歳・80歳以上（各1人）となっています。

発症すると、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を、また高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあり、重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

・水痘（管内注意報発令！！）



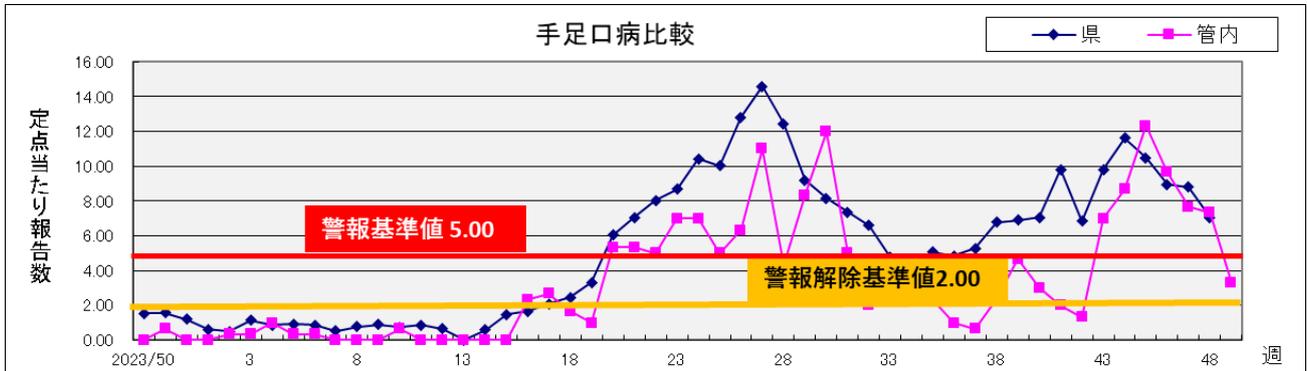
今週の伊集院保健所管内における水痘の報告数は3人（定点当たり 1.00）でした。年齢別では、10～14歳（3人）の報告を受けています。

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、これは水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる発疹性の病気です。感染から2週間程度の潜伏期間を経て発疹が現れます。臨床経過は一般に軽症で、倦怠感、掻痒感、38℃前後の発熱が2～3日間続く程度です。典型的な症例では、発疹は紅斑（皮膚の表面が赤くなること）から始まり、水疱（水ぶくれ）を経て痂皮化（かさぶたになること）して治癒します。

感染経路には、空気感染や飛沫感染、水疱の内容物との接触による接触感染などがあり、発疹が出現する1～2日前からすべての水疱が痂皮化するまで感染力があります。

予防方法としてはワクチン接種が推奨されています。周囲に患者がいる場合は、患者との接触を避け、手洗いを励行しましょう。

・手足口病（管内警報発令中）



今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の22人（定点当たり 7.33）から12人少ない10人（定点当たり 3.33）でした。

年齢別では、2歳・3歳（各3人）、1歳（2人）、4歳・6歳（各1人）の報告がありました。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

感染予防対策としては、タオルの共用は避け、手洗いをしっかり行いましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 12/2～12/8（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止については、インフルエンザ患者が12人（内訳：非型別インフルエンザが9人、A型インフルエンザが3人）、水痘が2人、溶連菌感染症が3人、マイコプラズマ感染症が5人、手足口病1人、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が1人、そしてCOVID-19が1人です。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	水痘（みずぼうそう）	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	手足口病	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	新型コロナウイルス感染症
日置市		9	0	2	3	5	1	0	0
いちき串木野市		0	3	0	0	0	0	1	1
三島村		0	0	0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0	0	0
計		9	3	2	3	5	1	1	1